

令和元年12月26日

令和元年度
広島県特別支援学校教育研究大会

主体的に学ぶ児童生徒を育む 授業づくり 3年間の取組

広島県立西条特別支援学校

本校の概要

肢体不自由を有する児童生徒を対象とした
特別支援学校
(全児童生徒数 67名 5月1日現在)

単一障害学級
(17名)

重複障害学級
(50名)

園生(52%)

通学生(48%)

本校の児童生徒

- 小学部から高等部までの児童生徒が在籍しており、実態は様々。
⇒11の教育課程を編成
- 児童生徒の転入転出が多く、人数が流動的である。(若草園に手術やりハビリのため、短期で入園して退園する。)
⇒年度途中での学級編制の変更もある。



研究テーマ

本校の目指す子ども像



- ①様々なことに興味・関心を持ち、進んで学ぶ児童生徒
- ②自分を豊かに表現できる児童生徒

主体的に学ぶ児童生徒を育む 授業づくり

～各教科・領域のつながりを意識することを通して～

研究の経過 (1年目)

主体的な学びの姿の捉え直し
本校の主体的な学びの姿を定義

各類型ごとの「主体的な学びの姿」

【Ⅰ類型・・・準ずる教育課程】

- 自ら課題を見付け、
- 学び考え、
- よりよく課題を解決することができる。

研究の経過 (1年目)

【Ⅱ類型・・・知的代替の教育課程】

- 意欲的に活動に参加する。
- 意見を出し合い、
- よりよい方法を考えることができる。

【Ⅲ類型・・・自立活動を中心とした教育課程】

- 自分からの動きがある。
- 活動の見通しをもっている。
- 自分なりの意思表示がある。
- 主体的な学びに向かう基礎的活動

研究の経過 (2年目)

教材・教具の工夫
 定義した主体的な学びの姿を促す授業づくりに
 おいて活用した教材・教具について

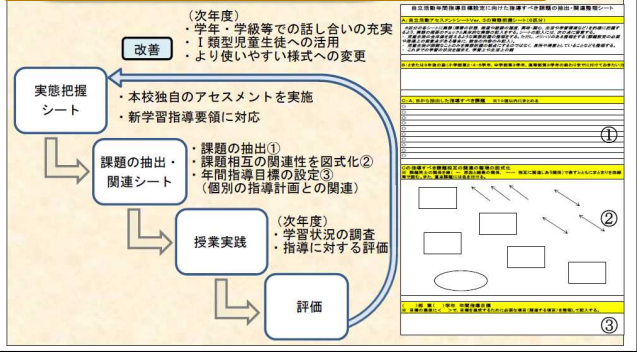
①29年度定義した主体的な学びを意識した授業づくり

②自立活動アセスメントシートVer.3の活用

③教材・教具シートの作成及び共有

研究の経過 (2年目)

②自立活動アセスメントシートVer.3の活用



研究の経過 (2年目)

③教材・教具シートの作成及び共有

「主体的な学びの姿」を記入し、目指す姿を明らかにする。

自立活動の目標を教材・教具を使いさらに具体的に定める。

実践後の評価をすることで成果や課題を明らかにする。

年に2回行っている研修会で共有し、他教科・領域との連携を繋げる。

学習29年度「主体的な学び」を促す教材・教具シート（抜粋）
 研究テーマ「具体的に主体的な学びを促す授業づくり」

学年・学級	教材名	実践活動	成果・課題
小学部・2年	ぞうんとおさんぽりゅうつ	連続活動	課題抽出ができた。
			児童生徒の目標が明確化した。
			実践後の評価ができた。
			共有ができた。

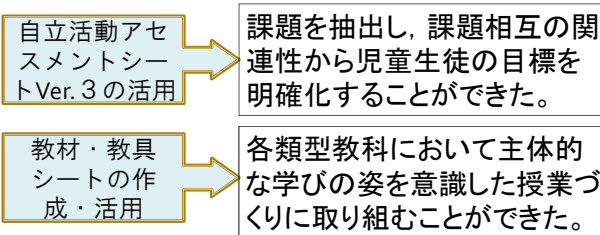
研究の経過 (2年目)

③教材・教具シートの作成及び共有



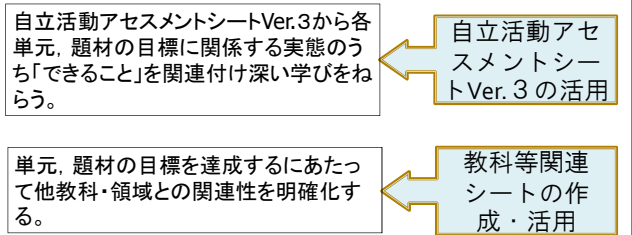
研究の経過 (2年目の研究の成果)

主体的な学びを促す授業づくり
 ～教材・教具の工夫を通して～



研究の経過 (3年目)

サブテーマ
 ～各教科・領域のつながりを意識することを通して～



研究の経過 (3年目)

サブテーマ
～各教科・領域のつ
ながりを意識する
ことを通して～

研究テーマ「主体的に学ぶ授業を目指し授業づくり」
～各教科・領域のつながりを意識することを通して～
令和3年度「主体的に学ぶ授業実践シート」(1年目) 記入上の留意点

対象学年・学期	()学年 ()学期 ()学期 ()学期	教科領域	()教科
対象児童生徒	作成者	研究種別	()研究
児童生徒の 実態	できこと ① できこと ②	自立活動アセスメントシートを参考に、シートの日欄 に提供する要素のうち「できること」を「できること」 とすることで、つなげて深い学びを促す。	
研究の 目的・課題 設定	目的 設定	目的 シートの日欄1～4年次までの日欄を達成するために、協議を行う。	
研究の 内容	具体的な 実践内容	個別の指導計画から転記する。	
研究の 方法	資料 収集 方法 調査 方法 具体的内容 担当	シートの日欄を達成するにあたって、 「他教科のこの取組はシートの日欄を達成するの役に立つのでは」 「他教科でこんな取組をしたからシートの日欄がより達成できるのでは」と考えられる取組を転記する。 →1つは記入し、縦を横にする。 ・個別の指導計画と完全に一致する必要はない。 ・取組の中で特に関連が深いと思われる部分に下線を引く。	
研究の 成果	実践的 成果 期待 する 効果 期待 する 効果 期待 する 効果	実践的に活用し、転記することができ た実践(事例)の転記 転記ができた実践 転記ができなかった実践	あてはまる項目に○をブ ルワウンから選ぶ。
研究の 評価	評価 項目 評価 方法	日欄を達成することができたか 他教科の日欄達成が「指導計画」と同じような成果があったか 「主体的に学ぶ」の姿が見られたか	できたもの○をブル ワウンから選ぶ。
研究の 課題	自由 記述	・日欄がどのように達成できたか。 ・他教科と関連させたことかあったこと等。 ・どのような主体的な学びの姿が見られたか。	
研究の 今後の 展望	()学年の 日欄	・2学期の成果を踏まえて、新たな日欄を立てる。	

御清聴ありがとうございました。